

2021年4月13日

フェアットカウンティパブリックスクールのご家族の皆様へ:

私達のパートナー、レキシントンフェアットカウンティヘルスデパートメントとの今日の会議の後、コミュニティでの感染者数が比較的少なく、7日間の平均で33人であることをお知らせできることを喜ばしく思っています。これは先週よりも少し多いですが、ヘルスデパートメントチームは今朝、増加の一部は拘置所での集団感染によるものだと発表しました。

春休みの旅行が私たちのデータに影響を与える2週間の水準にまだ達していないため、私たちは、フェアットカウンティでの感染率は引き続き低いと慎重ながらも楽観的に見えています。私たちのコミュニティは、FCPSの対面学習マトリックスで「黄色」のレベルに達した今、そこにとどまるために継続的な作業を必要としています。

家族が対面学習を選択したすべての生徒はキャンパスに戻りました—コミュニティの全員の努力、献身、決意によってのみ可能になるベンチマークです。これは一人の人間や一つの委員会の努力ではなく—これは本当に街全体のものです。

子どもたちを参加させ、家族とつながる創造性、スタミナ、卓越した能力を持つ教師と教育チームに感謝しています。私たちは、サポートスタッフ—特にフードサービス、トランスポーターション、メンテナンスのスタッフに—生徒、家族、同僚へのサービスを提供するための彼らのたゆまぬ献身に、感謝します。さらに、共同教師、家庭教師、支援者、宿題モニターの役割に身を置いたコミュニティのリーダー、コミュニティのメンバー、家族を認識しています。

学校の最終日までわずか25日、私たちは皆さんに、警戒を怠らず、ここまで私たちを導いてくれたヘルスプラクティスを厳守するようお願いいたします。学年のサイクルの中で、これは私たちにとって対面で一緒にいることが最も重要な時期の一つです。なぜなら、過去数ヶ月にわたって教えられてきた概念やスキルが熟達し始めるからです。

私たちの小中学校では、生徒たちはリーディングと算数の学習を計るために作られた春季評価テストを受けます。MAPテストとして知られている—(Measures of Academic Progressの略)—この全国的に標準化された評価は、改善を追跡し、各学年レベルの生徒が基準をマスターできるよう年に3回行われます。

冬季のテストでは、テストしたすべての学年で成長が見られたことを喜んでお伝えします。—1年生から8年生。さらに励ましとなることは、2021年に各学年で得られた得点は、パンデミック前の同じ学年で得られたベンチマークとほとんど同じであることです。すべての生徒がオンライン学習中にMAPテストに参加したわけではないことを認識しているため、この現在のサイクルは全体像を把握するために重要です。

2020-21学年は学年であったことを覚えておくことが重要です。確かに今までとは違いましたが、教師が教え、生徒が学び、サポートが提供されていました。生徒たちが対面に戻ってきた今、私たちはこの学年の残りの時間を使って、サポートが必要な分野を特定し、生徒たちが次の課題に確実に対応できるよう努力しています。

6月と7月に69の場所で提供されるサマーイグナイトのようなプログラムは、必要な分野をさらに強化する役割を果たします。2021-22学年に必要なサポートも視野に入れています。私たちの緊迫感は、単に正常な状態に戻るだけでなく、学習を個人化し、すべての子供が無数の可能性に到達するのを助ける正常な状態を考え直すことで、かつてないほど高まっています。

敬具,

マーリーン・ヘルム